

平成30年4月25日

日本酪農科学会（JDSA）の会員の皆様へ

学会誌の電子出版での発刊、ログイン情報および注意事項（お知らせ）

東京では桜はピークを過ぎたかと思いますが、仙台でもそろそろお花見の季節が終わりになりまして、新緑が美しい季節に移りつつあります。会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、当学会の学会誌の「ミルクサイエンス」は、いよいよ本号の第67巻第1号より冊子体より電子出版に変わります。他の学会でもこのような電子出版への動きは趨勢となりつつあり、東北大学図書館の各種の学会誌も、このような形態に日々移行している雑誌の多いことを図書館に足を運ぶたびに実感しております。電子出版への移行につきましては、本年まで3年間に渡りかなりの時間を割きまして、常任幹事会および評議員会の委員の皆さんに十分議論して頂きました。現実的には現在の学会の年会費では、冊子体での出版は長くは継続できないという判断と危機感が背景にありました。そのあたりもご理解の上、どうぞ末永く学会誌（電子書籍）もご購入いただきたいと思いますと念じております。

なお、IDとパスワードにつきましては、既に昨年末にお送りさせて頂いております情報を入力下さい。まず学会のホームページ(<http://www.jdta.or.jp/jdsa/>)をご訪問下さい。そして、そのトップページの左下のJ-stageのロゴマークをクリックしてお進みください。会員の皆さんは、**学会誌の発刊より4か月間（4月～7月まで）**は、自由に閲覧およびpdfでのダウンロードがウェブ上から可能となります。なお、4か月後には、一般の方々にも同様の閲覧とダウンロードが解禁されます。それまでの4か月間は、非会員の方にはログイン情報は教えて頂かないように、ご留意ください。次号の第2号（8月発刊予定）以降の刊行も同様にお考え下さい。

なお、すでに皆様には郵送にてこの情報はお伝えしてありますが、IDとパスワードをお忘れの会員の方は、事務局 (kanazawa@jdta.or.jp) または会長 (tadao.saito.a3@tohoku.ac.jp) に電子メールにてお尋ね下さい。

また、本年末の12月には、本年度の3号分(67-1～3号)のミルクサイエンスに掲載されました全ての原著論文と総説を合本とした一冊を、全会員の皆さんには配布する予定しております。これは、他の学会には全く実施していないことですが、併せて、宜しく願い申し上げます。

日本酪農科学会（JDSA）会長
齋藤忠夫（東北大学名誉教授）